

3 2回目評価

3-① 自己評価 【評価日：平成26年2月】

評価者・組織(名称)：九条中学校運営委員会

	分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
1	確かな学力	読書の習慣化	生徒アンケートの調査結果	・朝読書について一部取り組めない生徒もいるが、全体的に取組めるようになってきた。図書館整備後、図書室での利用状況は20余名、生徒ボランティアによる地域施設への読み聞かせに取り組んでいる。	・読書への関心を高めるため、ビブリオバトルなどを取り入れた指導に取り組む。授業での図書館利用率をあげる。
		わかる授業の創造	教職員・生徒アンケートの調査結果 確プロ・全国調査結果	・小中合同で授業改善の取組を進めている。依然厳しい状況にあるが、一部の学年での確プロに成果が表れた。	・授業改善について、小中連携の中で学習規律や学習方法の連携を図り、取り組みの充実を図る。探究活動を学校全体として共有できるように研修会を持つ。家庭学習については、「自学自習のすすめ」で家庭への働きかける。
		総合的な学習の時間の充実	探究活動の実施状況調査	・探求活動の取組は、学年ごとの取り組みであった。学校全体として共有できなかつた。	・小中合同の中でつけたい力を明確にした体験活動の中で、自己有用感をつける。次年度に向けて、ポスター発表で探究活動の充実を図る準備を進める。
		家庭学習の習慣化	生徒アンケートの調査結果	・(全国)「学校が楽しい」が72.3Pであったが、小中合同で授業改善に取組を進め、生徒会活動の活性化も進みつつある。	・(全国)「学校が楽しい」が72.3Pであったが、小中合同で授業改善に取組を進め、生徒会活動の活性化も進みつつある。
2	豊かな心	学校生活が楽しい	生徒アンケートの調査結果	・(全国)「学校が楽しい」が72.3Pであったが、小中合同で授業改善に取組を進め、生徒会活動の活性化も進みつつある。	・(全国)「学校が楽しい」が72.3Pであったが、小中合同で授業改善に取組を進め、生徒会活動の活性化も進みつつある。
		あいさつと正しい言葉づかいの実践	教職員・生徒アンケート調査結果	・あいさつと言葉づかいについては、来校者や保護者アンケートなどにおいて評価されている。(全国)「学校の規則を守っていますか」は79pであり、道徳や生徒会活動の充実化が課題である。	・あいさつと言葉づかいについては、今後とも授業や学校生活、部活動で指導を重ねていく。規範意識については生徒会活動の取組を充実させる。生活指導についてもキャラクタの視点で指導の充実を図る。
		規範意識の向上	生徒アンケートの調査結果		
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	朝食の摂取率	・(全国)朝食摂取率は、88.7Pであったが、学級指導とともに保健だよりや委員会の掲示物などにも取組んだ。	・朝食の摂取と睡眠時間の確保の重要性について、保健だよりや学級だより、懇談や家庭訪問時にも働きかけ、協力を求めていく。
		基本的生活習慣の確立	生徒アンケートの調査結果	・(全国)就寝時間、起床時間について遅寝遅起き傾向が出ている。学級での指導や家庭への発信をさらに行っていく必要がある。	・就寝時間、起床時間と健康の関係について、委員会壁新聞などの掲示物を活用して取り組む。
4	学校独自の取組	小中一貫教育の推進	小中連携の会議・行事の実施状況	・小中連携は2・26に「九条中学校区の児童生徒の実態と課題」について、研修会を持ち今年度の総括と次年度に向けての取組の共有を図っている。地域行事(餅つき)に一部ではあるがさ。単なる行事に終わってないか検証が必要である。	・取組が生徒の自己有用感の向上につながるよう事前・事後指導の充実を図る。「命・保育」の教育はパパママ体験で取組んでいる。道徳をはじめ、家庭科や保健体育科と連携し充実を図る。活動を通してつけたい力を明確にし指導者の共通理解を深める。
		命・保育の教育の推進	生徒アンケートの調査結果	・「命・保育」の教育は「塔南の園」の協力で実施している(9月・11月)。	
		地域連携	地域連携行事の実施状況	・地域連携、地域人材活用は地域美化活動、校内環境美化活動、文化祭、講演、ふれあいトークは地域の方と生徒が話ができるよい場になっている。	

3-② 学校関係者評価 【評価日：平成26年2月20日】

評価者・組織：学校運営協議会、学校評議員(いずれかに○)】

評価結果	改善に向けた支援策
<ul style="list-style-type: none"> 道に広がって歩いたり自転車通学をする生徒を見かけることがある。 服装の乱れを見かける。学校のルールを保護者にも徹底する必要があるのではないか。 スマートフォンなどの取組はどうか。 あいさつは元気よくできている。 花ボランティアで学校にくるが、生徒が気軽にあいさつや声をかけてくれた。 生徒の地域環境美化への参加協力はよかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあいトーク」は地域の方と生徒が話ができるよい場になっている。 今後とも協力したい。 地域美化活動や区民体育祭、地域行事への中学生の参加を今後とも期待する。 生徒会本部とPTA代表の話し合いの場を持ち、今後の協力の参考にしたい。

4 総括・次年度の課題

- 小中連携の中で「授業改善とキャラクタ教育」を柱に取組みを進め、学力の向上を目指す。
- 小中連携行事や地域行事の取組みを充実させ、自己有用感の向上を目指す。